

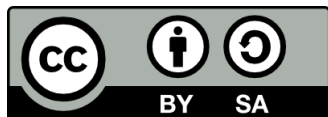
信州大学における 研究データ管理支援

2024年6月11日

学術情報基盤オープンフォーラム2024 Day1

「どうする？研究データ管理」

信州大学附属図書館 岩井 雅史

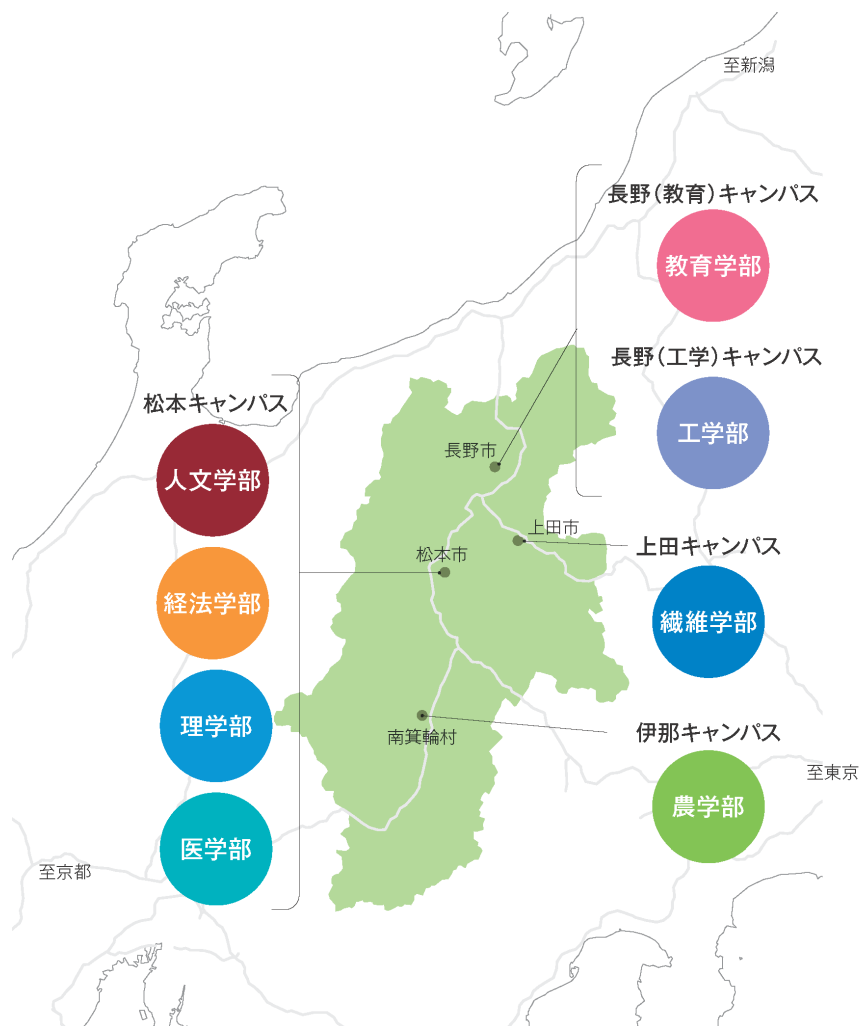


報告の内容

1. 信州大学で研究データ管理支援に取り組むまで
2. 研究データポリシーの策定
3. 研究データ管理支援の取り組み

研究データ管理支援に取り組むまで

信州大学の概要



5キャンパス・8学部の総合大学

(教員約1,100名、
大学院生約2,000名、学部生約8,000名)



研究データ基盤へのニーズ

- 多様な分野の研究データを扱う
- 離れたキャンパス間でのセキュアなデータ共有

最初の組織：オープンサイエンス推進部会

期間

2019年7月～2022年3月

構成

- 附属図書館長
- 各学部教員
- 総合情報センター長
- 附属図書館各館職員
(オブザーバー：研究推進部職員)

主な取り組み

- オープンアクセス方針の策定(2021年7月)
- オープンアクセスや研究データ管理に関する、研究者へのアンケート・インタビュー
- GakuNin RDM導入

図書館の中の組織

現在の組織：研究データ作業部会

期間

2022年4月～

構成

- 理事(情報・DX担当)
- 理事(研究、産学官地域連携担当)
- 附属図書館長
- 総合情報センター長
- URA
- 研究推進部長、研究支援課長
- 附属図書館管理課長

主な取り組み

- 研究データポリシーの策定
- 研究データ管理等にかかる支援体制及び基盤整備のあり方に関する検討

部局横断的な組織に

研究データポリシーの策定

研究データポリシーの検討過程

2022/05	第1回 部会のミッションの確認
2022/06	第2回 データポリシーに書き込む項目
2022/08	第3回 データポリシーのたたき台
2022/09～ 10	部局への意見伺い 希望する部局への説明会の実施
2022/11	第4回 意見伺いの結果の検討
2023/01	第5回 データポリシー案決定
2023/02	情報・DX推進機構運営会議で承認
2023/03	役員会で承認

背景：公的資金による
研究データの管理・利活用
に関する基本的な考
え方(2021)
「2025年までにデータ
ポリシーを策定する」

ポリシー制定にあたり考慮したこと

- 参考にしたもの
 - 先行大学のポリシー(京大、名大、東工大、東北大)
 - [大学における研究データポリシー策定のためのガイドライン \(AXIES 2021\)](#)
- (上記ガイドラインで言う)
「オープンサイエンス」型と「コンプライアンス」型の折衷
- 研究推進部からの意見の反映
 - 研究インテグリティ
 - オープン・アンド・クローズ戦略

部局からの意見・疑問点

- プロジェクトの委託元のデータ管理に関する合意書やガイドラインとポリシーとの関係
- 研究データや研究者の定義
- データをオープンにすることと同時にクローズにすることも意識してほしい



主に解説に反映

ポリシーの特徴

- 研究データ管理は研究者等の「権利及び責務」
 - データを管理する主体は研究者
- 法令等の遵守や倫理的要件の尊重、研究インテグリティの確保
- 公開・非公開は、各種条件等の範囲で適切に選択
 - 全ての研究データの公開を求めるものではない
 - 公開する場合は利用条件を付与
- 大学は研究者等の行う管理及び公開を支援
 - 具体的な内容は解説で例示

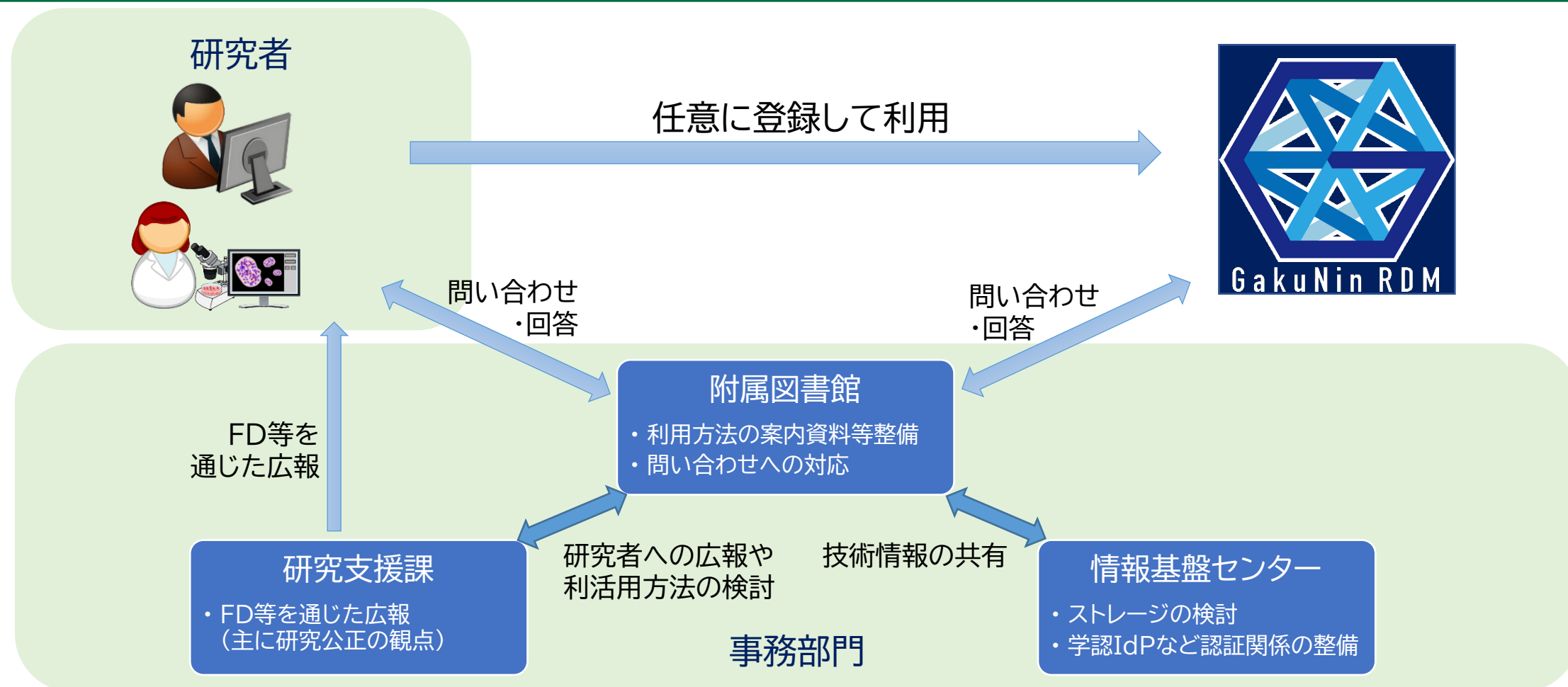
国のOA方針を反映した見直しもあって良いかも

研究データ管理支援の取り組み

これまで取り組んだこと



- GakuNin RDMの導入
 - 2021年にオープンサイエンス推進部会にて導入を決定
 - 学内の運用要項を策定
 - ストレージは標準ストレージ＋拡張ストレージで運用
- 研究データ管理に関する広報・FD等
 - ポリシーの内容、政策の動向から、ツールの使い方まで
 - 2023年度、全学部の会議等で説明
 - ウェブサイトの内容を整備

GakuNin RDMの運用体制




Home / コース / 研究データ管理・公開ポリシーに関する説明会

活動

-  [リソース](#)
-  [外部ツール](#)

ナビゲーション

▾ Home

-  [ダッシュボード](#)
 - > [eALPS教職員サイト](#)
- ▾ [マイコース](#)
 - [さらに ...](#)
- ▾ [コース](#)
 - ▾ [研究データ管理・公開ポリシーに関する説明会](#)
 - > [参加者](#)
 - > [一般](#)
 - > [研究データ管理・公開ポリシーに関する説明会](#)

研究データ管理・公開ポリシーに関する説明会

※2023年10月～2024年2月に各学部にて開催のFD「研究データ管理・公開ポリシーに関する説明会」内容の動画です

公的資金による研究については、研究データを含む研究成果をオープンアクセス化することが求められています。これを踏まえ、本学では「研究データ管理・公開ポリシー」を策定しました。研究データ管理をめぐる動向など研究者のみなさまに情報提供いたします。

内容 (20分)

- 「信州大学研究データ管理・公開ポリシー」に関すること
- 研究データ管理をめぐる動向と、研究者が今後求められること
- 研究データ管理ツールGakuNin RDMについて
- 研究データ管理に関するe-Learning 教材について

 [研究データ管理・公開ポリシーに関する説明会動画](#)

 [説明会資料](#)

外部リンク
[eALPSヘルプ](#)
直近イベント

直近のイベントはありません。
[カレンダーへ移動する ...](#)

FDの内容はe-Learning
プラットフォーム上で教職
員向けに公開



信州大学附属図書館

HOME > 研究支援

研究支援

信州大学オープンアクセス方針

信州大学における研究成果のオープンアクセス方針です。

研究ワークフローの各段階で必要なことに関する情報提供(まだこれから)

信州大学研究データ管理・公開ポリシー

信州大学における研究データの管理や公開に関する方針です。

リポジトリでの公開手順の案内のほか、学外の各種データリポジトリの紹介

研究データの管理・公開ポータル

研究者向けに、研究データの管理や公開に関する情報を集約しています。

研究データの公開

研究データの公開方法をご紹介します。

研究データ管理基盤「GakuNin RDM」

研究データ管理基盤「GakuNin RDM」の利用方法等をご案内しています。

利用開始方法から利用中の注意事項まで利用者からの問い合わせを元にしたFAQも

学認LMSでの研究データ管理自習教材の利用

研究データ管理について自習できる教材の利用方法です。

NII・JPCOAR作成の教材の案内

研究支援

- 信州大学オープンアクセス方針
- 信州大学研究データ管理・公開ポリシー
- APC（論文掲載料）の割引・支援について
- 機関リポジトリでのオープンアクセス
- 研究データの管理・公開ポータル
- 研究データの公開
- 研究データ管理基盤「GakuNin RDM」
- 学認LMSでの研究データ管理自習教材の利用
- ジャーナルの質を判断するために
- 研究推進（支援）の情報
- 資料購入（教職員向け）

「附属図書館ウェブサイト内
「研究支援」のページ

GakuNin RDMに関する課題

■ 利用状況の把握

- 機関管理者の権限では、誰がユーザか・どのようなファイルが保存されているかといったことは分からない
(ストレージごとの総ファイル数と総容量くらい)

■ 研究者転出時の対応

- データポリシーや実施方針で定めるが、実際に履行されているかどうかのモニタリングが(上記と同様)困難

■ 未利用機関の研究者とのデータ共有

これから取り組むこと①

■ ポリシーの実施要領の策定

- 具体的に何をすれば、ポリシーに従ったことになるのかを、研究者にわかりやすく
- 素案を示して部局の意見を伺った段階。引き続き研究データ作業部会で検討

■ 学内ストレージの検討

- 管理用、長期保存用、公開用 いずれも需要が増えるのは目に見えている
- コストに関しての学内調整が課題

これから取り組むこと②

■ DMPやメタデータ付与に関する支援内容の検討

- 主要な公募型研究資金で作成が義務化
 - ・ 提出義務の有無は制度による
- メタデータ付与には、リポジトリやGakuNin RDMの活用も

■ 即時OA義務化に対応する支援内容の検討

- 2025年度新規公募分から、査読論文・根拠データが対象
- データの公開方法、実施体制等々の検討...

OA加速化事業が
採択されるか
どうかも大きい...

ありがとうございました

ご質問等は、信州大学附属図書館情報システム担当
library-soar2@shinshu-u.ac.jp まで



信大ナナちゃん

信州大学附属図書館
マスコットキャラクター